



絶滅危惧種の保全を通じた地域の活性化

京都府立大学細胞工学研究室

京都府
南山城村

京都府
綾部市
奥上林

【活動場所】

- (1) 南山城村
- (2) 綾部市奥上林

【活動目的・背景】

人間の活動に伴い、自然環境の保全がますます重要になってきている。環境省と各都道府県により、地域の絶滅危惧種の調査が行われ、レッドデータブックとして公開されている。京都府の絶滅危惧種サギソウおよびヒメザゼンソウの保全を目的に、群生地保護および復元、自生種の遺伝資源保護、教育やシンポジウムを通じた啓蒙活動を進めている。

【取組概要】

- (1) 南山城村に自生していたサギソウは、今では準絶滅危惧種に指定されている。わずかに残された村のサギソウの保全と、群生地復元による地域の新しい見所を創出しようとしている。
- (2) 綾部市奥上林で、京都府のレッドブックに掲載されているヒメザゼンソウの群生地が見つかった。この群生地の保全と、ヒメザゼンソウの栽培化による遺伝資源保護の活動を進めている。

【成果・今後の課題】

- (1) 南山城村のサギソウ保全活動では、笠置中学校と木津高校、および京都府立大学の教育機関連携による取り組みに発展し、生徒の環境保全活動に役立っている。サギソウの系統、形態解析を進め、保全取り組みと共に広く周知することができた。
- (2) ヒメザゼンソウ群生地の区画化と発生の調査、地元住民への周知ができ、今後引き続き保全と見所創出に向けて、地元住民と共に活動を続ける。

【本取組に関するお問合せ先】

京都府立大学大学院
生命環境科学研究科 細胞工学研究室
Tel : 0774-93-3526
Fax :
E-mail : sejitakeda@kpu.ac.jp

【関連 Web サイト】

研究室ホームページ
http://www2.kpu.ac.jp/life_environ/cell_genome_bio/Home.html

